



合併して5年が経過

当組合は、平成30年4月1日に、JA新あきたとJA秋田みなみが合併をして設立され、今年度は5周年にあたります。

第6回通常総代会資料の24ページに、財務・事業成績の推移に記載があるとおり、これまで毎年、4億円を超える当期剰余金を計上することができ、厳しい環境下にあった令和4年度決算においても、3億円の当期剰余金を計上し、組合員の皆さんに対して、出資額や事業利用高を基準として、9千万円ほどの配当をすることができました。

そうは言いましても、合併時にありました組合員からの出資額は4,982百万円でしたが、脱退等によりまして、令和4年度末では4,379百万円まで減少しております。

准組合員は増加傾向にありますが、正組合員がこの5年間で9,535人から7,902人まで減少しており、当組合にとって、このことは非常に大きな課題であると言えます。

自己改革実践中

政府が定めた「農協改革集中推進期間」が令和元年5月で期限を迎えましたが、JAはこれからも継続して自己改革に取り組みます。「農業や地域になくてはならないJA」を目指し、地域農業に根ざした活動を多角的に展開していきます。

土壌診断から読み取れる圃場特性への理解を深める機会を設け、生産効率や営農指導能力の向上を図ります。

土壌分析結果による診断と施肥設計に関する講習会

農業生産の拡大 農業者の所得増大

5月19日(金)、土壌分析の結果を施肥設計へ効果的に活用するため、診断結果の見方を学ぶ講習会が男鹿地区営農センターで開催されました。大潟村で農業アドバイザーを担う金和裕さんを講師に迎え、生産者や営農センター、グリーンセンターの職員が管内の土壌の分析値の傾向や土壌中の肥料成分の動きなどへの理解を深めました。



ちよとおたあし

"tenohikari"

家の光

『家の光』2017年6月号「野菜がうまい! おつまみ道場」より

調理/瀬尾幸子

エダマメのしょうゆ煮

さやもチユウチユウ吸って味わうべし!



作り方

- 1 エダマメはさやの両端を切る。
- 2 ボウルに入れ、塩をふって強くもむ。
- 3 さやの産毛がしんなりしたら、水で塩を洗い落とす。
- 4 鍋に水1カップとしょうゆを入れて火にかけ、沸騰したらエダマメを入れる。
- 5 2~3分間ゆでて火を止め、ゆで汁につけたまま冷ます。



さやの両端を切ることで味がしみやすくなる。

暮らしをよくする情報がいっぱい! 『家の光』購読のお申し込みはお近くのJA窓口へ